令和4年度 新規採択分支援課題一覧

【光学顕微鏡支援活動】

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
1	平塚 佐千枝	信州大学	基盤B	細胞外RNAによる抗転移細胞活性化の解明	藤森 俊彦
2	菊池 浩二	熊本大学	基盤C	軟骨細胞の時空間的な極性形成を規定する分子基盤の解明	
3	植木 尚子	岡山大学	基盤B	赤潮発生に必要な栄養基盤形成機構に海洋環境微生物の物質代 謝が果たす役割の解明	
4	西村 浩平	名古屋大学	基盤C	タンパク質工学およびケミカルバイオロジーを駆使したタンパク質分解系の開発	
5	原 昌稔	大阪大学	基盤B	セントロメアクロマチンの"コンパクトさ"を形作る機構とその意義	
6	大谷 哲久	生理学研究所	学変A(計画)	細胞間接着を起点とした細胞競合の分子機構とその生理的制御機構の解明	
7	平田 たつみ	国立遺伝学研究所	成果公開	神経細胞の誕生日タグづけマウス系統アトラス	
8	杉浦 歩	順天堂大学	新学術(公募)	マウス初期胚発生と連動したペキソファジー	
9	安島 理恵子	国立遺伝学研究所	基盤C	Wnt/PCPシグナル経路が制御するマウス初期胚形態形成の分子 機構の解析	
10	星野 友則	広島大学	若手	血管石灰化が中枢神経系に及ぼす影響の解明	野中 茂紀
11	小玉 哲也	東北大学	挑戦(開拓)	遠隔転移治療に向けた革新的リンパ行性薬物送達法の創製	
12	阿部 真土	大阪大学	基盤B	機能亢進型GNAS変異マウスを用いた線維性骨異形成症の病態解明と創薬展開	
13	上阪 直史	東京医科歯科大学	学変B	発達期の脳多元自発活動による小脳ネットワークのデザインビルド	
14	近藤 邦生	生理学研究所	基盤B	エネルギー代謝の変化を担う脳—末梢間神経回路リモデリング機 構の解明	
15	岡本 正洋	筑波大学	基盤C	運動で高まるストレス耐性の神経機構解明:交差耐性仮説の検証	
16	小出 周平	東京大学	若手	加齢に伴う造血幹細胞の原理解明と老化関連疾患の克服	
17	平塚 佐千枝	信州大学	基盤B	細胞外RNAによる抗転移細胞活性化の解明	亀井 保博
18	塩入 達政	愛知医科大学	若手	I型アレルギー反応の決定的セルグリシン: 肥満細胞分泌顆粒への輸送機構	
19	向井 智美	愛知県がんセンター(研究所)	基盤C	ナノボディを用いた O-GleNAc 修飾異常による悪性中皮腫進展機構の解明	
20	大谷 哲久	生理学研究所	学変A(計画)	細胞間接着を起点とした細胞競合の分子機構とその生理的制御機 構の解明	根本 知己
21	加藤 君子	愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所	基盤C	新たなアプローチによるX連鎖性疾患に伴うskewed X染色体不活性化機構の解明	
22	小池 誠一	富山大学	挑戦(萌芽)	オルガネラ改変に基づく加齢卵子の"質"改善法の開発	
23	足澤 悦子	大阪大学	基盤C	細胞系譜に既定された神経結合が感覚入力の影響を選択的に受けるメカニズムの解明	和氣 弘明

1

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
24	柴田 幹大	金沢大学	基盤B	1分子イメージングによるゲノム編集ツールの分子作動機構の解明	村越 秀治
25	石原 美弥	防衛医科大学校	新学術(公募)	3次元空間でのシンギュラリティ細胞特定のための光音響イメージング	
26	永井 健治	大阪大学	新学術(計画)	シンギュラリティ細胞を探索・操作するための細胞機能3次元可視化・光操作技術の開発	
27	蓑島 維文	大阪大学	基盤C	骨代謝に関わる細胞機能を可視化する蛍光プローブの開発	
28	村上 正基	愛媛大学	基盤C	掌蹠膿疱症の発症メカニズム:初期水疱形成環境の三次元微細構造解析と実験モデル作成	今村 健志
29	大森 深雪	愛媛大学	基盤C	T細胞の代謝リプログラミング遮断によるアレルギー性皮膚炎病態制御の試み	
30	鈴木 淳平	愛媛大学	基盤C	リソソームCa2+恒常性維持を介したT細胞老化制御機構の解明	
31	瀬尾 憲司	新潟大学	基盤B	脱分化脂肪細胞由来の細胞抽出物による末梢神経損傷の新たな 治療法開発	
32	神力 悟	熊本大学	基盤C	メカノセレクション仮説から迫る循環腫瘍細胞クラスターの特性解明	
33	東元 健	佐賀大学	基盤C	知的障害を呈するSotos症候群モデルマウスの樹立とその発症機 構の解明	
34	寺田 直樹	福井大学	基盤C	前立腺癌におけるHumanized HGF SCIDマウスを用いた新規治療の開発	
35	仁木 利郎	自治医科大学	基盤C	低接着スフェロイド培養を用いた肺腺癌の転移機構の解析	
36	木村 亮	京都大学	基盤C	ウィリアムス症候群の社会行動異常に関わる遺伝子の探索	松田 道行
37	稲垣 毅	群馬大学生体調節研究所	基盤B	代謝環境による統合的エピゲノム制御機構の解明	
38	井上 実	京都大学	若手	放射線照射により生じる血管内酸化ストレス及びがん転移形質の 誘導機構の解明	
39	井上 喜博	京都工芸繊維大学	基盤C	ショウジョウバエモデルを用いた自然免疫系による癌抑制機構の遺伝学的解明	
40	榊 真一郎	東京大学	特推	細胞間相互作用に着目した心臓流出路の形態形成機構の解明	
41	佐波 理恵	京都府立医科大学	基盤C	一次造血とその循環を担う内皮ネットワーク形成機構の解明	
42	八代 健太	京都府立医科大学	基盤B	心臓前駆細胞の「自己の確立」を支える分子機構	
43	原 雄二	静岡県立大学	基盤B	骨格筋再生・機能における機械受容イオンチャネル群の役割	
44	肥後 剛康	京都大学	基盤B	非侵襲技術による霊長類の神経回路操作と応用による高次認知機 能制御メカニズムの解明	
45	坪井 有寿	京都大学	新学術(公募)	細胞外マトリックスを基盤とする昆虫の羽化翅の建築原理の解明	
46	柳田 素子	京都大学	挑戦(萌芽)	体温が決定するエネルギー代謝と障害応答性:冬眠に学ぶ	
47	今井 友也	京都大学	基盤A	酵素による高分子構造制御ーセルロース合成酵素の構造-機能相 関	
48	喜安 佳之	京都大学	若手	KRAS変異大腸癌への骨髄球上のCCR1/CXCR2を標的とした新規 治療の検討	
49	川根 公樹	京都産業大学	学変A(公募)	細胞の組織からの離脱と組織の修復を両立させる、細胞社会にお ける細胞終焉機構の解明	

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
50	小島 大輔	東京大学	基盤B	動物の光受容システムの機能成熟と分子・神経メカニズム	洲崎 悦生
51	大塚 健介	電力中央研究所	基盤B	mTert幹細胞に特異的な遺伝子の解析による幹細胞休止性と放射 線抵抗性の理解	
52	関根 圭輔	国立がん研究センター	基盤B	in vitroがん転移モデルの構築による転移メカニズムの解明	
53	内藤 清惟	鹿児島大学	基盤B	狂犬病ウイルスと組織透明化を用いた排便制御に関わる中枢神経 の網羅的解析	
54	小出 周平	東京大学	若手	加齢に伴う造血幹細胞の原理解明と老化関連疾患の克服	
55	伊藤 海	東京大学	奨励費	哺乳類の鼻構造の進化要因と相同性の解明	
56	片山 量平	がん研究会	挑戦(開拓)	動くタンパク質構造辞典構築を介した疾患関連分子の新規標的部位探索	
57	早河 翼	東京大学	基盤B	シングルセル解析を用いた消化管癌起源細胞と周囲ニッチの進展機序解析	
58	二井 偉暢	九州大学	基盤C	エピブラストの形態変化と多能性変遷機構の解明	
59	眞鍋 一郎	千葉大学	挑戦(萌芽)	細胞共生による細胞の生存と機能変容の分子機序解明	
60	大石 由美子	日本医科大学	挑戦(萌芽)	マクロファージ多様性の拡大を起点とした筋再生・修復メカニズムの解明	
61	榎木 亮介	自然科学研究機構・生命創成 探究センター	学変B	冬眠動物の概日時計の分子機構:カルシウムを基軸とした低温リズム発振機構の解明	
62	関 満	自治医科大学	若手	ファロー四徴症ラットモデルを用いた大動脈壁血管変性メカニズム の解明	
63	古賀 純一郎	産業医科大学	基盤C	NotchリガンドDII1による動脈硬化プラーク不安定化機構の解明と新規治療開発	
64	木村 一貴	東北大学	基盤C	異なる生殖システムから見た種分化駆動力としての性選択	稲葉 一男
65	田中 大介	東京医科歯科大学	基盤C	快・不快の味覚反応と相関のある活動を示し、さらにその反応を誘導する神経機構の解明	菅谷 佑樹
66	坂口 昌徳	筑波大学	学変A(公募)	再編成を続ける記憶回路におけるシナプス刈り込みの意義の解明	
67	堀内 浩	生理学研究所	基盤B	液性変化を巧みに利用する脳内免疫細胞の生理機能	澤田 和明
68	小泉 修一	山梨大学大学院	学変A(計画)	ミクログリアデコーディングによる全身監視・制御システムの解明	
69	楢本 悟史	北海道大学	基盤B	オーキシン極性輸送の成立に不可欠な新現象「PINクラスター」形成に関する研究	佐藤 良勝
70	多喜 正泰	名古屋大学	挑戦(萌芽)	超解像蛍光寿命イメージングによるミトコンドリア膜電位のシングル クリステ解析	
71	飯田 敦夫	名古屋大学	基盤A	高輝度パルス電子線を用いた高速オペランドイメージング法の開拓	
72	大澤 志津江	名古屋大学	学変A(計画)	昆虫外骨格形態を建築するECMリモデリングとその分子機構の解明	
73	栗原 大輔	名古屋大学	新学術(公募)	植物初期胚発生におけるリガンドー受容体を介した胚性再獲得機構の解明	
74	福澤 健二	名古屋大学	基盤A	集積化マイクロデバイスを用いたナノすきま潤滑の素過程の解明	
75	武内 秀憲	名古屋大学	学変A(公募)	花器官ジオラマ環境の理解による花粉管細胞の制御アルゴリズム の解明	
76	高塚 大知	金沢大学	基盤C	根毛細胞をモデルとした植物の核移動現象における局所的な液胞 再編に関する研究	
77	長野 稔	立命館大学	基盤C	細胞膜ナノドメインを基軸とする植物免疫経路の解明	
78	水多 陽子	名古屋大学	学変B	1細胞追跡による花粉の精細胞の運命と受精能を決定するメカニズムの解明	(次ページに続く)

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
79	吉本 光希	明治大学	新学術(計画)	様々なタイプのオートファジーによる植物の高次機能発現	佐藤 良勝
80	深尾 陽一朗	立命館大学	挑戦(萌芽)	タバコ属植物において異科接ぎ木成立を促進する候補ペプチドの 作用機作解明	(前ページの続き)
81	西條 雄介	奈良先端科学技術大学院大学	基盤B	湿度環境情報に基づく植物免疫応答の制御	
82	高木 慎吾	大阪大学	基盤C	ゼニゴケの精子形成・機能獲得におけるCRWNの役割	
83	角井 宏行	京都大学	挑戦(萌芽)	コムギ栽培化プロセスにおける花粉数制御機構の解明とその育種 利用	
84	築地 真也	名古屋工業大学	基盤B	生細胞内メンブレンコンタクトの可視化・操作ツールの開発	
85	菅井 祥加	筑波大学	研スタ	タンパク質液滴の特徴パターンを捉える蛍光色素修飾ペプチド群の 開発	
86	田島 健次	北海道大学	基盤A	酵素による高分子構造制御ーセルロース合成酵素の構造-機能相 関	三上 秀治
87	楢本 悟史	北海道大学	基盤B	オーキシン極性輸送の成立に不可欠な新現象「PINクラスター」形成に関する研究	
88	高野 勇太	北海道大学	基盤B	高輝度安定型量子ドットと革新的マイクロ細胞組織による光治療薬 開発と1分子動態解明	
89	雲林院 宏	北海道大学	基盤A	単一細胞エンドスコピック増強ラマンによる薬剤の相分離局在化解 明と創薬への応用	
90	及川 司	北海道大学	基盤C	p53による核内ヒストン動態制御機構の解明	
91	川野 潤	北海道大学	挑戦(萌芽)	pH/イオン濃度分布の可視化が拓く新たな固液界面反応評価	
92	西野 浩史	北海道大学	学変A(公募)	昆虫の耳小骨の建築工法の解明	
93	宮武 由甲子	北海道大学	基盤C	新しいCancer-on-chipの腫瘍ダイナミクス解析による創薬支援	
94	村上 洋太	北海道大学	新学術(計画)	ヒストン修飾Eraserによる抑制的エピゲノムの維持・変動制御機構の解明	
95	野間 健一	北海道大学	帰国発展	分裂酵母とヒトの3Dゲノム構造とその形成機構の解明	
96	上原 亮太	北海道大学	国際B	少数細胞の分裂異常が個体機能を喪失させる原理の解明	
97	氏家 英之	北海道大学	基盤B	加齢に着目した皮膚の免疫自己寛容破綻機序の解明	
98	高木 純平	北海道大学	若手	オルガネラ間相互作用から探るペルオキシソーム膜タンパク質の輸 送機構	
99	田村 彰吾	北海道大学	基盤C	ライフステージに伴う血小板・巨核球造血微小環境の時空間的変遷 の解明	
100	堤 元佐	自然科学研究機構・生命創成 探究センター	若手	時空間蛍光相関解析による新規生体深部3次元超解像観察法の 確立	
101	多喜 正泰	名古屋大学	挑戦(萌芽)	超解像蛍光寿命イメ―ジングによるミトコンドリア膜電位のシングル クリステ解析	岡田 康志

【電子顕微鏡支援活動】

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
1	小泉 修一	山梨大学	学変A(計画)	ミクログリアデコーディングによる全身監視・制御システムの解明	大野 伸彦
2	田守 洋一郎	京都大学	基盤B	組織内在性の特異的微小環境から始まる腫瘍浸潤の分子基盤	•
3	柚崎 通介	慶應義塾大学	特推	細胞外足場タンパク質によるシナプス・非シナプス機能制御機構の 解明	
4	上野 将紀	新潟大学	挑戦(萌芽)	脳脊髄液を探知する神経回路の機能の解明	
5	田久保 圭誉	国立国際医療研究センター	挑戦(萌芽)	単一造血幹細胞のATP濃度・量のリアルタイム測定技術の確立	
6	宮田 崇	名古屋大学	若手	妊娠出産が家族性中枢性尿崩症のバソプレシンおよびオキシトシン に与える影響の解析	
7	澤本 和延	名古屋市立大学	基盤S	新生児脳におけるニューロン新生とその病態:先端分析技術による 統合的理解	
8	田島健次	北海道大学	基盤A	酵素による高分子構造制御ーセルロース合成酵素の構造-機能相 関	村田 和義
9	上野 隆史	東京工業大学	新学術(計画)	バクテリオファージに学ぶ発動分子システムの創成	
10	神吉 智丈	新潟大学	基盤B	レセプター依存的マイトファジーの誘導制御と生理機能の解明	
11	飯野 亮太	分子科学研究所	新学術(計画)	生体・人工発動分子によるエネルギー変換過程の1分子計測法の 開発	
12	加藤 晃一	名古屋市立大学	基盤A	先端計測アプローチの統合による抗体の構造動態と機能発現の連 関機構の解明	
13	矢木 真穂	名古屋市立大学	基盤S	新世代中性子構造生物学の開拓	
14	金蔵 孝介	東京医科大学	基盤B	ALS原因蛋白による液液相分離の機能構造連関とその病理的意義の解明	
15	青野 重利	自然科学研究機構・生命創成 探究センター	新学術(計画)	生命金属動態を鍵反応とするセンサー分子システムの構築と生理 機能制御	
16	乾 隆	大阪公立大学	挑戦(開拓)	リバビリンによる抗原虫作用の機序解明に基づくアフリカトリパノ ソーマ症の新薬開発	
17	鈴木 大介	信州大学	基盤B	単一ゲル微粒子の強靭化に基づくミクロ空間移動科学の構築	
18	小柴 琢己	福岡大学	挑戦(萌芽)	イムノコンドリア: 自然免疫における中枢機能の解明	安永卓生
19	平順一	九州工業大学	学変A(公募)	脂質二重膜で機能するヘリックスペプチドを利用したミニマルイン ターフェイスの構築	
20	植木 尚子	岡山大学	基盤B	赤潮発生に必要な栄養基盤形成機構に海洋環境微生物の物質代 謝が果たす役割の解明	
21	小柴 琢己	福岡大学	挑戦(萌芽)	イムノコンドリア: 自然免疫における中枢機能の解明	太田 啓介
22	魚崎 英毅	自治医科大学	基盤B	疾患基盤となるサルコメアとミトコンドリア相互制御機構の解明	
23	中嶋 秀行	九州大学	若手	内在性DNAリガンドによる脳内免疫担当細胞を介したレット症候群 発症の分子病態解明	
24	本庄 雅則	九州大学	基盤C	コリンプラスマローゲンの生合成経路と生理機能の解明	
25	花田 礼子	大分大学	基盤B	ATPとアデノシン動態を指標としたNAFLD/NASHの病態解明と治療 基盤の創出	
26	森田 斉弘	熊本大学	基盤C	肥満誘導性がんにおけるオルガネラ相互作用の解析	
27	蓮澤 奈央	久留米大学	若手	細胞外ATPによる肝臓VLDL分泌促進の分子機構	

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
28	西田 友哉	順天堂大学	新学術(公募)	インスリン分泌顆粒分解の空間的・時間的評価と分子機構および病態生理学的意義の検討	小池 正人
29	松本 征仁	順天堂大学	基盤B	RNA送達を用いた生体リプログラミングによる1型糖尿病の根治法の開発	
30	小松 雅明	順天堂大学	新学術(計画)	選択的オートファジーによる細胞制御	
31	平山 尚志郎	東京大学	新学術(公募)	ESCRT経路によるミクロオートファジー/プロテアソーム分解振り分け機構の解明	
32	迫 圭輔	国立循環器病研究センター	基盤C	膜リン脂質を介したpH依存性細胞応答機構の解明	深澤 有吾
33	久本 芽璃	北海道大学	若手	顎骨特有の圧力検出機構の解明	渡辺 雅彦
34	狩野 方伸	東京大学	学変A(計画)	発達期小脳におけるシナプス刈り込みの臨界期の解明	
35	飯田 和泉	新潟大学	国際B	新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究	
36	藤原 徹	東京大学	基盤S	植物の栄養感知機構の解明と栄養応答統御	豊岡 公徳
37	佐藤 明子	広島大学	基盤B	ゴルジ付着型リサイクリングエンドソームのポストゴルジ輸送への役割	
38	野村 俊尚	理化学研究所	基盤C	応用利用に向けたユーグレナにおけるパラミロン粒形態制御の分子機構解明	
39	森田(寺尾)美代	基礎生物学研究所	新学術(計画)	重力情報の変換・出力機構を介した植物の力学的最適化戦略の統合的理解	
40	伊藤 光二	千葉大学	新学術(公募)	「アクチンを湾曲させる」ミオシンの設計原理	
41	倉永 英里奈	東北大学	学変A(計画)	クロススケール細胞内分子構造動態解析が解明する体軸形成と恒 常性維持	
42	田中 厚子	琉球大学	基盤A	珪藻ピレノイドの機能から読み解く、海洋二次葉緑体のグローバル インパクト	
43	野元 美佳	名古屋大学	新学術(公募)	トライコーム依存的な植物免疫における力学的特性の解明	
44	王丹	理化学研究所	基盤B	神経回路の活動依存的発達におけるmRNA化学修飾の役割	片岡 洋祐
45	小池 太郎	関西医科大学	若手	新規一次感覚ニューロンの生理的・病理的役割の解明	

【磁気共鳴画像支援活動】

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
1	三浦 健一郎	国立精神・神経医療研究センター	基盤C	精神疾患の視覚認知行動異常のシステム神経科学的研究	定藤 規弘
2	三浦 健一郎	国立精神・神経医療研究セン ター	基盤B	多次元脳神経画像とゲノムによる精神疾患の脳病態に基づく新た な診断体系の構築	
3	恵飛須 俊彦	関西電力医学研究所	基盤C	高齢運転者における認知機能の画像評価システムデータバンク作成	
4	中根 俊樹	名古屋大学	基盤C	深層学習を用いた脳深部の高精細MR画像 ~7テスラ超高磁場MR 画像に迫る~	
5	岡田 知久	京都大学	基盤B	超高磁場MRによる脳内代謝物計測法の開発と病態フィンガープリントの解明	
6	永瀬 麻子	鳥取大学	若手	認知的負荷の時間割引の行動・神経機構の解明および先延ばし・ アパシーの横断的説明	
7	玉利 誠	令和健康科学大学	若手	能動的注意と受動的注意の協調性に着目した半側空間無視の新たな評価機器の開発と解析	青木 茂樹
8	吉澤 浩志	東京女子医科大学	基盤C	認知症における発症防御因子;認知予備能の意義とその神経基盤	
9	阿部 浩明	福島県立医科大学	基盤C	経頭蓋直流電気刺激により改善する遷延性意識障害例の神経基 盤の解明と刺激法の開発	
10	中奥 由里子	国立循環器病研究センター	奨励費	電子カルテの医療ビッグデータを用いた認知症診断支援AIモデルの開発と臨床応用	
11	渡邉 素子	東京医科歯科大学	若手	舌痛症患者における脳活動~甘味刺激による疼痛緩和~	
12	豊福 明	東京医科歯科大学	基盤C	歯科心身症の疾患横断的な診断・治療法の開発とサブタイプの同 定	
13	玉利 誠	令和健康科学大学	若手	能動的注意と受動的注意の協調性に着目した半側空間無視の新たな評価機器の開発と解析	岡田 直大
14	吉澤 浩志	東京女子医科大学	基盤C	認知症における発症防御因子;認知予備能の意義とその神経基盤	
15	松平 泉	東北大学	若手	養育態度の解剖 -養育の質の世代間伝達と子どもの脳発達の関連を探究する-	
16	松平 泉	東北大学	学変A(公募)	そして「僕」が「在る」: 親の人生経験と子の他者信頼の関係を探究するトリオ脳科学	
17	中村 加枝	関西医科大学	基盤B	負の情動下の意思決定行動変容の神経基盤:拡張扁桃体-大脳基 底核回路の探求	林 拓也

【画像解析支援活動】

番号	支援を受けた 研究者氏名	所属機関	研究種目	科研費研究課題名	主な 支援担当者
1	梶田 真也	東京農工大学	基盤B	リグニンの分子構造が特異なクワの変異体を用いたゲノム編集樹 木の有用性の実践的検証	上野 直人
2	武藤 真長	滋賀医科大学	若手	カニクイザルを用いた妊娠疾患モデル作製と表現型解析	
3	堤 璃水	京都大学	若手	肢オルガノイドを用いた軟骨形態形成・成長の再構成とその細胞基盤の研究	
4	越智 翔平	東北大学	若手	雌雄における遺伝子の発現量の差異が大脳皮質の性分化に与える役割の解明	
5	木村 亮	京都大学	基盤C	ウィリアムス症候群の社会行動異常に関わる遺伝子の探索	加藤 輝
6	諸岡 直樹	基礎生物学研究所	奨励	くるくる回り時を刻む4D植物図鑑の創生~在宅でも楽しく学ぶための一助として~	
7	越智 翔平	東北大学	若手	雌雄における遺伝子の発現量の差異が大脳皮質の性分化に与え る役割の解明	
8	近藤 寿人	生命誌研究館	基盤C	頭部形成を制御する転写因子OTX2の、エピブラストでの新しい機能の解明	
9	横山 仁	弘前大学	基盤C	再生しない成体ツメガエル四肢を再生させ再生能の実体を示す:パターン形成と分化から	
10	星野 友則	広島大学	若手	血管石灰化が中枢神経系に及ぼす影響の解明	内田 誠一
11	赤木 剛士	岡山大学	基盤B	カキのゲノム進化に基づく果実の形状多様性獲得モデルの構築	
12	津田 誠	九州大学	学変A(計画)	グリア多様性を軸にした介入法による感覚など全身機能の変容	
13	秋田 佳恵	日本女子大学	若手	葉表皮細胞の形態形成過程における物質輸送の顕微鏡学的解析	檜垣 匠
14	竹村 研治郎	慶應義塾大学	挑戦(萌芽)	オートエンコーダによる触察時振動データからの触感知覚特徴量の抽出	舟橋 啓
15	四方 明格	基礎生物学研究所	新学術(公募)	根毛の自律的伸長機構にみる構造システムの研究	小田 祥久
16	小玉 哲也	東北大学	挑戦(開拓)	遠隔転移治療に向けた革新的リンパ行性薬物送達法の創製	木森 義隆
17	荒木 信	明治薬科大学	基盤C	細胞小器官の機能動態に介在するARLファミリー低分子量Gタンパク質群の解析	